

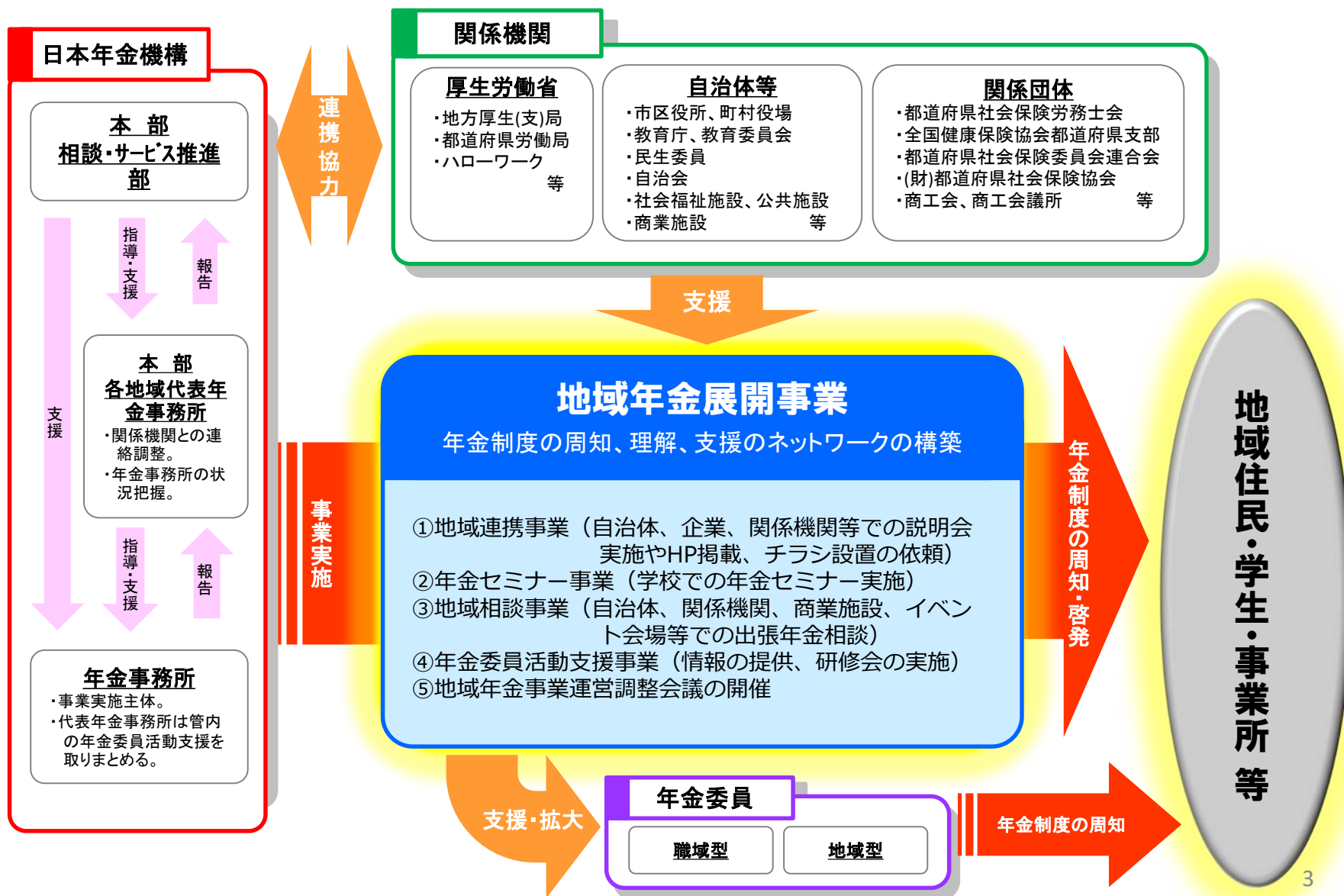
令和元年度 第1回 鳥取県
地域年金事業運営調整会議

鳥取県地域年金展開事業
平成30年度事業実施結果及び令和元年度事業計画

令和元年9月
鳥取年金事務所

1. 地域年金展開事業の概要	3 P
2. 平成30年度事業実施結果（平成30年4月～31年3月）	5 P
3. これまでの課題対応状況	9 P
4. 令和元年度事業計画（取組中間報告）	1 2 P

1. 地域年金展開事業の概要(1/2)



1. 地域年金展開事業の概要(2/2)

地域年金展開事業の主な取組

- ◆ 公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆ また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

地域連携事業

職員が自治体や民間企業、関係機関、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員・所属員・加入員向けの年金制度説明会を実施。
市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。

年金セミナー事業

職員が、大学や短大、専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。
大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。

地域相談事業

年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

年金委員 活動支援事業

年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。

地域年金事業 運営調整会議

公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

2. 平成30年度の事業実施状況(1/4)

年 月	地域連携事業	年金セミナー事業	地域相談事業	年金委員活動支援事業
平成30年4月	【社会保険協会広報誌による周知・啓発】 ●社会保険協会に原稿を提供 【全事務所】	【大学・高校等での年金セミナーの実施】 ●鳥取看護大学 89名 4/4 【倉吉】 【年金セミナー実施協力依頼】 ●高校 5校 専門学校 1校 【倉吉】 ●高校 9校 専門学校 1校 養護学校 2校 【米子】	【市町村等における出張年金相談】 ●来訪者 鳥取2名 【ハローワークの雇用保険受給者説明会での説明】 ●相談者 1 1名 【倉吉】	【季刊誌「年金委員の方へのお知らせ」を送付】 ●503件送付 4/25 【鳥取】 ●222件送付 4/24 【倉吉】 ●475件送付 4/25 【米子】 【全事務所】 【年金委員拡大の要請】
5月	【市町村広報誌、社会保険協会広報誌による周知・啓発】 ●市町村に原稿「かけはし」提供、社会保険協会に原稿を提供 【全事務所】 【新任事務担当者説明会】 5/24 10名 【米子】 【市町村国民年金事務担当者研修】 5/23 15名 【上席】	【大学・高校等での年金セミナーの実施】 【年金セミナー実施協力依頼】 ●短大 1校 高校 2校 専門学校 1校 特別支援学校 1校 【倉吉】 ●高校 2校 専門学校 1校 【米子】	【市町村等における出張年金相談】 ●来訪者 鳥取7名 【ハローワークの雇用保険受給者説明会での説明】 ●相談者 1 6名 【倉吉】	【年金委員（社会保険委員会役員）研修会を開催】 ●米子社会保険委員会役員合同研修会 20名 5/11 【米子】 ●倉吉社会保険委員会役員合同研修会 12名 5/9 【倉吉】 ●年金委員拡大勧奨通知の送付 498件 5/11 【米子】
6月	【社会保険協会広報誌による周知・啓発】 ●社会保険協会に原稿を提供 【全事務所】 ●算定事務説明会にて制度説明 6/11 147名 【倉吉】 6/19 321名 【鳥取】 6/21 329名 【米子】 【市町村国民年金事務担当者研修】 6/20 10名 【上席】 6/22 11名 【米子】 6/26 5名 【倉吉】 【上席】 【新任事務担当者説明会】 6/7 19名 【鳥取】	【大学・高校等での年金セミナーの実施】 ●鳥取大学 861名(7回実施) 6/19~6/22 【鳥取】 ●米子ビューティーカレッジ 16名 6/5 日本海情報ビジネス 84名 (2回実施) 6/29 【米子】 【年金セミナー実施協力依頼】 ●高校 3校 【倉吉】 ●高専 1校 【米子】	【市町村等における出張年金相談】 ●来訪者 鳥取4名 【ハローワークの雇用保険受給者説明会での説明】 ●相談者 6名 【倉吉】	
7月	【市町村広報誌、社会保険協会広報誌による周知・啓発】 ●市町村に原稿「かけはし」提供、社会保険協会に原稿を提供 【全事務所】	【大学・高校等での年金セミナーの実施】 ●美保学園 6名 7/11 【米子】 ●中央高等学園 8名 7/9 【倉吉】 【年金セミナー実施協力依頼】 ●高校 1校 【倉吉】 ●高校 1校 【米子】	【市町村等における出張年金相談】 ●来訪者 鳥取0名 【ハローワークの雇用保険受給者説明会での説明】 ●相談者 7名 【倉吉】	【年金委員の方へ参考資料を送付】 ●503件送付 7/24 【鳥取】 ●222件送付 7/31 【倉吉】 ●475件送付 7/5 【米子】 【全事務所】 ●年金委員拡大勧奨通知の送付 212件 7/20 【米子】

2. 平成30年度の事業実施状況(2/4)

年 月	地域連携事業	年金セミナー事業	地域相談事業	年金委員活動支援事業
平成 30年 8月	【社会保険協会広報誌による周知・啓発】 ●社会保険協会に原稿を提供 【全事務所】 【新任事務担当者説明会】 8/21 13名 【米子】 【鳥取県地域年金事業運営調整会議の開催】 8/22 【全事務所】	【大学・高校等での年金セミナーの実施】 ●米子北斗 43名 8/27 【米子】 【年金セミナー実施協力依頼】 ●専門学校 1校 特別支援学校 1校 【倉吉】 ●高校 2校 養護学校 1校 【米子】	【市町村等における出張年金相談】 ●来訪者 鳥取1名 【ハローワークの雇用保険受給者説明会での説明】 ●相談者 9名 【倉吉】	【年金委員拡大の要請】 ●地域型年金委員研修会を開催 8/29 8名参加 【全事務所】
9月	【市町村広報誌、社会保険協会広報誌による周知・啓発】 ●市町村に原稿「かけはし」提供、社会保険協会に原稿を提供 【全事務所】 ●新任事務担当者説明会 9/20 3名 【倉吉】 【鳥取市生活保護担当者研修】 9/27 35名 【上席】 【関係機関等での年金制度説明会】 ●鳥取県医療社会事業協会所属ケースワーカー対象に障害年金研修 9/1 18名 【米子】	【大学・高校等での年金セミナーの実施】 ●米子白鳳 50名 9/23 - クラーク記念国際 13名 9/25 - 皆生養護 19名 9/21 【米子】 ●倉吉東高校（定時制） 14名 9/12 【倉吉】 【年金セミナー実施協力依頼】 ●中学 1校 【鳥取】 ●高校 4校 専門学校 1校 【倉吉】 ●高校 1校 【米子】	【市町村等における出張年金相談】 ●来訪者 鳥取1名 【ハローワークの雇用保険受給者説明会での説明】 ●相談者 12名 【倉吉】	【全国年金委員研修への参加】 10月開催(10/4～10/5) 地域型 鳥取県・広島県 職域型 岡山県・山口県 地域型年金委員1名参加 【倉吉】
10月	【社会保険協会広報誌による周知・啓発】 ●社会保険協会に原稿を提供 【全事務所】 【鳥取行政評価事務所主催の合同行政相談会】 ●来訪者 米子会場 5名 10/10 - 境港会場 1名 10/23 - 鳥取会場 1名 10/15 - 倉吉会場 1名 10/17 ●新任事務担当者説明会 10/22 15名 【鳥取】 ●J R鳥取駅北口において、鳥取警察署特殊詐欺防止イベントに協賛し、予約相談等周知用リーフレットを配布 10/15 【鳥取】	【大学・高校等での年金セミナーの実施】 ●境港総合技術 169名 10/11 【米子】 ●倉吉総合看護専門学校 31名 10/4 ●倉吉北高校 98名 10/31(4回実施) 【倉吉】 【年金セミナー実施協力依頼】 ●高校 2校 専門学校 1校 特別支援学校 1校 【倉吉】 ●高校 2校 養護学校 1校 【米子】	【市町村等における出張年金相談】 ●来訪者 鳥取4名 【ハローワークの雇用保険受給者説明会での説明】 ●相談者 12名 【倉吉】	【年金委員の方へ参考資料を送付】 ●462件送付 10/19 【鳥取】 ●221件送付 10/11 【倉吉】 ●470件送付 10/1 【米子】 ●522件送付 10/19 【米子】 【全事務所】

2. 平成30年度の事業実施状況(3/4)

年月	地域連携事業	年金セミナー事業	地域相談事業	年金委員活動支援事業
11月	【市町村広報誌、社会保険協会広報誌による周知・啓発】 ●市町村に原稿「かけはし」提供、社会保険協会に原稿を提供【全事務所】 【新任事務担当者説明会】 11/27 10名【米子】 【市町村国民年金事務担当者研修（障害）】 11/9 13名【米子】 ●イオン鳥取店において、鳥取警察署と合同で年金の日における周知用リーフレット等を配布 11/30【鳥取】	【大学・高校等での年金セミナーの実施】 ●米子 150名 11/5、11/8（2回実施） 美保学園 9名 11/14【米子】 ●琴の浦高等特別支援学校 31名 11/12【倉吉】 【年金セミナー実施協力依頼】 ●短大 1校 高校 1校 中学 2校 特別支援学校 2校【倉吉】 ●高校 3校【米子】	【市町村等における出張年金相談】 ●来訪者 鳥取1名 【ハローワークの雇用保険受給者説明会での説明】 ●相談者 16名【鳥取】4名【倉吉】10名【米子】 ●大学での出張相談所の開設 ●公立鳥取環境大学 1名 11/14 ●鳥取大学 4名 11/28 ●鳥取看護大学・鳥取短期大学 1名 11/14	【年金委員研修及び年金委員表彰の実施】 ●年金委員・健康保険委員研修会を全国健康保険協会鳥取支部と共催 鳥取 11/20 186名参加 米子 11/21 143名参加 倉吉 11/22 105名参加 ●年金委員表彰（研修会に合わせ実施） 倉吉 理事長表彰 1名 米子 理事表彰 1名
12月	【社会保険協会広報誌による周知・啓発】 ●社会保険協会に原稿を提供【全事務所】 【関係機関等での年金制度説明会】 ●鳥取県医療社会事業協会所属ケースワーカー対象に障害年金研修 12/8 22名【米子】 【市町国民年金事務担当者研修】 12/11 5名【倉吉】 ●イオンモール鳥取北店において、鳥取警察署特殊詐欺防止イベントに協賛し、予約相談等周知用リーフレットを配布 12/14【鳥取】	【大学・高校等での年金セミナーの実施】 ●千代南中学校 30名 12/21【鳥取】 ●米子工業 184名 12/6、12/7（5回実施） 米子養護 20名 12/7 日野 50名 12/12【米子】 ●倉吉農業高校 76名 12/17【倉吉】 【年金セミナー実施協力依頼】 ●短大 1校 高校 2校 専門学校 1校 特別支援学校 1校【倉吉】 ●高校 1校【米子】	【市町村等における出張年金相談】 ●来訪者 鳥取4名 【ハローワークの雇用保険受給者説明会での説明】 ●相談者 3名【倉吉】 【ハローワーク主催の失業者説明会への参加】 ●相談者17名【米子】	【年金委員（社会保険委員会役員）研修会を開催】 ●米子委員会 12/3 22名 ●倉吉委員会 12/4 10名 ●鳥取委員会 12/5 15名 【年金委員の方へ参考資料を送付】 ●219件送付 12/14【倉吉】

2. 平成30年度の事業実施状況(4/4)

年 月	地域連携事業	年金セミナー事業	地域相談事業	年金委員活動支援事業
平成 31年 1月	【市町村広報誌、社会保険協会広報誌による周知・啓発】 ●市町村に原稿「かけはし」提供、社会保険協会に原稿を提供【全事務所】 【新事務担当者説明会】 1/23 8名【鳥取】 ●渡辺病院心理教育勉強会 1/21 10名【鳥取】 ●成人式での20歳向けパンフレットの配布依頼（管内5市町）【倉吉】	【大学・高校等での年金セミナーの実施】 ●米子南 155名 1/16 - 米子東 2名 1/21 - 境 80名 1/21 - 米子西 123名 1/24 - 米子松蔭 219名 1/29【米子】 ●農業大学校 35名 1/10 ●倉吉総合産業学校 142名 1/10 ●鳥取短期大学 119名 1/22【倉吉】 【年金セミナー実施協力依頼】 ●短大 1校 中学 1校 専門学校 1校【倉吉】	【市町村等における出張年金相談】 ●来訪者 鳥取1名 【ハローワークの雇用保険受給者説明会での説明】 ●相談者 2名【倉吉】	【年金委員の方へ参考資料を送付】 ●泊地区区長会において年金制度説明会開催 1/6 18名【倉吉】
2月	【社会保険協会広報誌による周知・啓発】 ●社会保険協会に原稿を提供【全事務所】 【関係機関等での年金制度説明会】 ●事業所からの依頼による退職予定者説明会 2/1 70名【米子】 ●倉吉市民生児童委員研修会 2/1 26名 ●西園自治会 2/27 40名【倉吉】 【新事務担当者説明会】 2/26 8名【米子】 【鳥取県地域年金事業運営調整会議の開催】 2/18【全事務所】	【大学・高校等での年金セミナーの実施】 ●倉吉養護学校 12名 2/13 ●赤碕中学校 66名 2/20【倉吉】 【年金セミナー実施協力依頼】 ●高校 5校【米子】	【市町村等における出張年金相談】 ●来訪者 鳥取3名 【ハローワークの雇用保険受給者説明会での説明】 ●参加者 46名【米子】 ●相談者 8名【倉吉】	【年金委員の方へ参考資料を送付】 ●456件送付 2/26【鳥取】 ●222件送付 2/15【倉吉】 【年金委員（社会保険委員会役員）研修会を開催】 ●3/19 13名【全事務所】
3月	【市町村広報誌、社会保険協会広報誌による周知・啓発】 ●市町村に原稿「かけはし」提供、社会保険協会に原稿を提供【全事務所】 【新事務担当者説明会】 3/20 6名【倉吉】	【大学・高校等での年金セミナーの実施】 ●矯正施設 11名 3/27【米子】	【市町村等における出張年金相談】 ●来訪者 鳥取0名 【ハローワークの雇用保険受給者説明会での説明】 ●参加者 176名（4回実施）【米子】 ●相談者 6名【倉吉】	【年金委員の方へ参考資料を送付】 ●227件送付 3/14【倉吉】

3. これまでの会議で出た意見及び課題への対応 1/4

【各事業の対応状況】

日付	事業名	意見・課題事項	対応状況	備考
H30年2月21日 第2回 運営調整会議	年金セミナー 事業	鳥取年金事務所の高校での年金セミナー実施が0回である。教育委員会からプッシュして取組むべきではないか。	【地域年金推進員の委嘱要請】 6月26日に鳥取県退職校長会事務局に委嘱推薦の要請を行い、会長等にもお伝えいただいたが、推薦は困難との結果であった。今後は学校ごとへアプローチに取り組み、セミナーを実施いただいた学校から推進員の委嘱に向けた要請にかかるご意見の収集を図りたい。	米子事務所管内は地域年金推進員の活動の効果により、実績が伸びており、委嘱に向けた取り組みを継続していきたい。
			【高等学校・中学校へのアプローチ】 鳥取県教育委員会事務局の高等学校課へ6月、小中学校課へ7月に要請を行い、県内学校長または各市町村教育委員長へ積極的な活用に向けた文書を送付いただいたところである。 ついては、9月から県内中学校、高等学校へ年金セミナーのアプローチの実施を強化する。	
			【租税教育】 鳥取税務署に6月に訪問要請した結果、11月～12月に実施予定の生徒参加型の租税教育に参入させていただけるように10月の講師打合せ会に出席し、コラボ実施に向けて具体的に相談する。	
			【特別支援学校】 6月に特別支援学校生徒の就労促進活動にかかる要請を受けたことを機会に、相互の協力連携を深め、PTA保護者も対象とした年金セミナーの実施協力をお願いしていく。	

3. これまでの会議で出た意見及び課題への対応 2/4

【各事業の対応状況】

日付	事業名	意見・課題事項	対応状況	備考
H30年8月22日 第1回 運営調整会議	地域連携事業	福祉との連携を強め、更生保護の仕組みを通じてアプローチする方法もあるので、そういう方法を取っていただきたい。	7月24日に鳥取保護観察所への訪問要請以降、8月中にかけて県福祉保健課及び市町村福祉課等のほか、保護司会関係団体へ協力要請を行った結果、保護司の方々が参集する定例会や研修会の場で年金制度説明会の検討をいただく快諾を得た。 今後、県内中・西部地区も含めて、各地区保護司会の団体へ協力要請に取り組む。 ※保護司会関係団体の要請先 ・鳥取県保護司会連合会 ・鳥取県更生保護観察協会 ・鳥取保護区保護司会事務局 など	
H30年8月22日 第1回 運営調整会議	地域相談事業	大学構内における出張年金相談について、11月以外にも学生の活動が活発な時期に相談窓口を開設してはどうか。	8月8日に鳥取県赤十字血液センターの献血推進課に要請を行い、県内4ヶ所の大学構内で10月に実施される移動採血車による献血イベントに出張年金相談を開設するコラボ実施の快諾を得た。 5月頃も入学イベントが予定されていることから継続実施していく。	
H31年2月18日 第2回 運営調整会議	地域連携事業 年金セミナー 事業	年金制度説明会及び年金セミナーについて、前年との比較を踏まえた実績で検証してもらいたい。	別添資料5及び6のとおり、平成26年度以降の結果を作成したところ、県全体では僅かではあるが実績が伸びてきている。	

3. これまでの会議で出た意見及び課題への対応 3/4

【各事業の対応状況】

日付	事業名	意見・課題事項	対応状況	備考
H31年2月18日 第2回 運営調整会議	地域連携事業	大学の年金セミナー後のアンケート内容と同じように企業への年金制度説明会等で出された意見要望等を拾い出し、問題点を紹介してもらいたい。	6月から取り組んでいる各地域の民生児童委員協議会への要請を通じて、地域型年金委員の委嘱依頼と併せて、年金生活者支援給付金の説明を実施しており、今後、意見要望いただいた内容を当会議資料で報告することとしたい。	
H31年2月18日 第2回 運営調整会議	地域連携事業	生活保護のケースワーカーの方々への協力要請も重要であることから、生活困窮者自立支援制度に絡んで、年金制度の周知啓発に取り組んでももらいたい。	本年10月施行の年金生活者支援給付金は全国900万人の対象見込みで、9月からターンアラウンド請求書を送付がされる。 この周知広報が重要な課題でもあり、免除制度を含めて、各市町村福祉課及び各社会福祉協議会を通じて、生活支援担当者の方へ協力要請を図っていきたい。	
H31年2月18日 第2回 運営調整会議	事業実績	国民年金事業結果の統計資料について、年代別なども含めた詳しい収納状況を紹介してもらいたい。	厚生労働省が公表した「平成30年度の国民年金の加入・保険料納付状況」等及び「強制徴収の実施結果」を資料として提出いたします。 また、平成26年度以降の年度別推移による中国五県の納付実績等を作成いたしました。	

3. これまでの会議で出た意見及び課題への対応 4/4

【各事業の対応状況】

日付	事業名	意見・課題事項	対応状況	備考
H31年2月18日 第2回 運営調整会議	年金セミナー 事業	社会人になる大学生への年金セミナーの説明テーマについて、年金の仕組みよりは、人口構成、国家予算財政の社会保障費、医療保険や国庫負担と保険料のバランスなどのテーマをセミナーに取り入れた方が良い。 また、年金記録問題など、これまでに社会的に影響のあった年金制度の経緯のほか、税と社会保障制度全体のうち、年金制度の位置づけを説明する内容を取り入れてもらいたい。	前回もお配りした資料ですが、「アニュアルレポート2017」に紹介している「数字で見る年金」に加え、公表資料の範囲で、総人口、労働力及び65歳以上人口の推移のほか、国庫負担と年金積立金の運用にもとづいて支払われている年金支給総額約51兆円が日本のGDP(国内総生産)の約10%であるなどの内容について、資料に盛り込むよう検討し、本部への承認を経て取り組む。	

4. 令和元年度事業計画(取組中間報告) (1/3)

【各事業への取組】

事業名	取組み内容	具体的な活動
地域連携事業	【周知啓発・広報の実施】 自治体や関係機関の広報誌を通じて年金制度の周知・啓発活動を実施する。	①市町村広報誌等による周知・啓発 → 管内各自治体の広報誌に記事を掲載していただくため、奇数月に原稿「かけはし」を提供し、誌面による周知を実施する。 ②関係機関との連携による周知・啓発 → 毎月発行される社会保険協会広報誌に記事を掲載していただくため原稿を提供し、誌面による周知を実施する。 また、年金相談予約等を広報するため、関係機関と連携してチラシの配付を行う。 ③自治会、町内会等を通じた周知・啓発 → 各市町村福祉課、社会福祉協議会及び民生児童委員協議会へ協力要請を実施し、各自治会や町内会にもチラシ配付及び集会時における周知活動の協力を依頼していく。
	【年金制度説明会の開催】 年金制度説明会の開催や講師派遣による年金制度に関する周知・啓発活動を展開する。	①各市町村、社会福祉協議会等を通じた研修の要請 → 本年度施行の「年金生活者支援給付金」及び「産前産後期間の国民年金保険料の免除」等の制度改正内容に関する周知に向け、各自治体を通じて民生児童委員、保護司及びケースワーカーの方々への説明会にかかる協力要請を実施する。 ②大規模事業所等での年金制度説明会の実施 → 大規模事業所等の職域型年金委員に講師派遣による社員向け制度説明会の案内を送付し、協力を要請する。

4. 令和元年度事業計画(取組中間報告)(2/3)

【各事業への取組】

事業名	取組み内容	具体的な活動
地域相談事業	【出張年金相談等の開設】 地域連携事業(年金制度説明会)と併せて各所において年金相談事業を展開する。	①市町村における出張年金相談 → 智頭町の会場で、事前予約の周知を広めた事前予約による出張年金相談を毎月1回、実施する。 ②大学等構内における出張年金相談 → 管内の大学を対象とし、学生納付特例制度等の周知に関する出張年金相談を開設する。 また、鳥取県赤十字血液センターにご協力をいただき、献血会会場とのコラボで相談所を開設し、献血待機中の学生に年金制度の周知活動を実施する。 ③ハローワーク雇用保険受給者説明会等での説明 → ハローワークにご協力をいただき、毎週、開催される雇用保険受給者説明会において、年金事務所職員による説明時間を頂戴し、国民年金の手続き及び免除制度等の周知を図る。
年金セミナー事業	【学生を対象とした年金セミナーの実施】 管内の教育機関への実施数拡大とともに、教育機関等のニーズにきめ細やかに対応する質的な充実に配慮した取組を行う。 年金セミナーの実施にあたっては、過去のアンケート結果を踏まえ、地域年金推進員を活用した効果的なアプローチと併せ、受講者に年齢の近い若手職員による講師対応により、機構職員の養成機会として、人材育成面にも配慮した取組を行う。	①地域年金推進員の委嘱要請 → 教育委員会のご協力をいただき地域年金推進員の委嘱及び各学校へ文書や訪問によるアプローチに取り組む。 ②税務署とのコラボ実施の協力要請 → 税務署が実施している租税教育の中に、年金制度の仕組みも啓発できるよう参画を要請し、年金セミナーを実施する。 ③保護者への年金セミナーの実施 → 特別支援学校等のPTA保護者が学校に参集する機会を捉え、年金制度の周知を広める取り組みに向けて、学校教諭の方へ協力要請を行う。

4. 令和元年度事業計画(取組中間報告) (3/3)

【各事業への取組】

事業名	取組み内容	具体的な活動
年金委員活動 支援事業	【年金委員の委嘱要請と情報共有の拡充】 年金委員の方へ定期的な情報提供を行うとともに、年金委員の知識の向上及び地域住民からの相談パイプ役の充実に繋げる。	①地域型年金委員への情報提供 → 各地域の近距離にお住いの地域型年金委員ごとに出席いただける規模の地域型年金委員連絡会を開催し、地域住民の方からのパイプ役を担っていただくため、必要なお意見や問題点の収集に取り組む。 各市町村福祉課、社会福祉協議会及び民生児童委員協議会の主催で開催される各種説明会に参画させていただきようお願いし、出席者に対し年金委員制度の周知及び委嘱要請を行う。 ②職域型年金委員への情報提供 → 11月に社会保険委員(年金委員・健康保険委員)研修会を全国健康保険協会鳥取支部と共同開催するとともに、長年にわたり年金制度の啓発活動に貢献していただいている功労者への表彰を実施する。 職域型年金委員の委嘱に向けて、管内の適用事業所へ年金委員の委嘱推薦をいただけるように勧奨文書を送付する。